

# よりよい自己の生き方を見いだす子供を育てる道徳科学習指導 ～道徳的価値の理解を深める・生かす対話活動を通して～

## 第五学年菊組 道徳科学習指導案

指導者 小柳 一也

**主題名** 集団の一員として C [よりよい学校生活、集団生活の充実]

「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。」

**教材名** 「森の絵」(日本文教出版 5年生)

### 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、学校や学級、集団をよりよくするために、協力し合いながら行動することができるようになっている。しかし、協力し合うことの大切さは分かっているが、自分の役割をやり遂げることで集団が成り立つことへの理解が不十分であることがわかった。そこで、集団の中での自分の役割を自覚することができるこの期に本主題を取り上げる。そして、集団の一員としての自覚をもち、役割を果たそうとすることの大切さの理解を深めることができるようにする。このことは、よりよい自己の生き方を見いだす子供を育てる上からも意義深い。
- 集団生活とは、共通の目的をもつ複数の人々が、その思いを尊重されながら主体的に参加、協力する営みのことである。充実とは、必要なものが備わっており、満ち足りた状態になることである。集団生活の充実とは、複数の人々がその思いを尊重されながら主体的に参加、協力する営みにより、一人一人の役割や責任を果たすことで、集団として満たされた状態であることである。本主題に関しては、第5学年前期で、集団生活の充実には、集団のことを考えて行動することが大切であることを学習してきている。本主題では、これらの上で立って、集団生活を充実させるためには、集団生活におけるどんな役割も集団の目標を達成するために大切であることがわかるようにする。このことは、第6学年後期の集団の中で一人一人が役割を果たすことが集団としての力を高める学習へと発展していく。
- 本主題の指導に当たっては、集団生活を充実させるためには、集団の一員としての自覚をもち、目標に向かって自分の役割を果たそうとする心が大切であることがわかり、集団の一員として任された役割をやり遂げようとする態度を育てる。そのために、教材「森の絵」を取り上げる。本教材は、学習発表会の劇において、希望した女王役になれなかったえり子が、道具係の仕事を投げやりに行ってしまうが、衣装係の仕事を一生懸命に行う文男の姿を見て、みんなで劇を成功させるためには、一人一人が役割を果たすことが大切であることに気付く物語である。まず、導入段階では、集団生活についての学習前の考え方と実際の行動を比較し、問題意識をもつことができるようにする。次に、展開段階では、自分の仕事に投げやりになってしまったえり子の気持ちと、望んだ仕事でなくとも集団のために役割を果たす文男を見たえり子の心情を考え、他者と対話することを通して集団生活の充実の価値についての考えを深めることができるようにする。そして、自分の委員会ではどんな心を大切にして取り組むかを考え、集団生活を充実させるために大切な心について考えを深めることができるようにする。最後に、終末段階では、集団生活の充実を図る自己の生き方を振り返り、これからのよりよい自己の生き方を見いだすことができるようにする。

### 計画 (1時間+課外)

- 日常生活において、集団生活の充実の価値に関わるこれまでの考え方を整理させ、傾向性を捉えさせる。—課外
- 1 教材「森の絵」を読ませ、集団生活の充実の価値について話し合わせる。————— 1本時
- 集団生活を充実させようとする子供のよさを認め合わせ、意欲の継続を図らせる。—————課外

**本時** 令和7年2月6日(木曜日) 第5校時 5年菊組教室において

- ねらい**
- 1 集団生活を充実させるためには、自分が集団の中の一人という自覚をもち、自分の役割を責任をもって果たそうとする心が大切であることがわかり、集団のために自分の役割をやり遂げようとする態度を育てる。
  - 2 教材「森の絵」を基に、深めた道徳的価値の理解について、卒業式の準備という道徳的な場面における自他の考えを共通点、差異点の観点から比較する対話活動を通して、集団生活の充実の価値を追求する。

**準備** 読み物教材、挿絵、ワークシート

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	具体的な支援 ※ICT活用
導入	<p>1 集団生活に関するこれまでの経験を想起し、集団生活の充実に関する本時のめあてを話し合う。</p> <p style="text-align: center;">集団生活を充実させることについて</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【学級目標「つなぐ」を達成した学級の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力し合える学級。</li> <li>・一人一人が大切にされる学級。</li> <li>・学習の学びをつなぎ、仲間との絆をつなぐ学級。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【学級目標に向けて取り組んでいるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。係活動で協力することができているから。</li> <li>・できていない。発言をつなぐことができていないから。</li> </ul> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・このままで、5菊の学級目標である「つなぐ」学級に近づけるのか。 ・学級をよりよくしていくには、自分にはどんな心が必要か。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">よりよい5菊になるために、自分にはどんな心をもてばよいか考えよう。</p>	<p>○集団生活に関する問題意識をもつことができるように、集団生活の充実に対する考え方を振り返り、実際の行動と比較する場を設定する。</p>
展開	<p>2 教材「森の絵」を基に、集団生活を充実させようとする心情を追求し、集団生活の充実の価値を明らかにする。</p> <p>(1) 中心場面におけるえり子の心情を考え、集団生活の充実の価値を深める。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・希望の役ができなくて、悔しい。 ・めぐみさんの演技には勝てない。 ・女王役でないなら、劇は成功しなくてもいい。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「だれかがやらないと、げきにならないじゃないか」と次の日もしゅうをしていた文男の姿を思い出したえり子は、どんなことを考えただろう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・役割を果たしていない自分が恥ずかしい。 ・どんな役割も、すべて大切なことなんだ。 ・みんなで取り組んで、劇を成功させたい。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">えり子がいきいきと役割に取り組めたのは、どんなことに気付いたからだろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分の役割を果たすからこそ、劇の成功を心から喜ぶことができる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>みんなが役割を果たすことで、劇を成功させることができる。</p> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">学級の目標を達成するためには、集団の一員として一人一人が目標に向かって責任をもって取り組む心が大切</p> <p>(2) 日常生活における道徳的な場面での自他の感じ方、考え方を交流し、集団生活の充実の価値を生かす。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">卒業式の準備について、あなたはどんな心を大切に、取り組みますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>どんな役割でも、精一杯取り組む。一人一人が自分の仕事に取り組むことで、気持ちよく6年生を送り出したい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まずは自分が役割をやり遂げる。自分がやり遂げることで、周りの人に広がっていき、素敵な卒業式をつくることにつながる。</p> </div> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・集団の一員として ・一人一人の役割が目標達成につながる ・全員で達成感を味わえる</p>	<p>○仕事が投げやりになったえり子の思いを共感的に考えることができるように、「なぜえり子は、仕事が投げやりになってしまったのだろう。」と発問し、交流する場を設定する。</p> <p>○自分の役割を果たすことが集団の目的の達成につながることに気付くことができるように、時間軸、空間軸の観点を基に考えを交流する場を設定する。 <b>【深める対話活動】</b></p> <p>○日常生活における道徳的な場面において集団生活での自分の役割を果たすことの大切さを考えることができるように共通点、差異点の観点を基に考えを交流する場を設定する。 <b>【生かす対話活動】</b></p>
終末	<p>3 本時を想起し、集団生活の充実の価値についての自己の学びを振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【大切な心】</p> <p>みんなで協力し合い、よりよい学級をつくることが大切。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【学習後の新たな考え方】</p> <p>集団の目標を達成するためには、一人一人が役割を果たすことが大切。</p> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">集団の目標を達成するためには、集団の一員として、一人一人がどんな役割でも精一杯取り組むことが大切です。そうすることで、学級や集団がよりよいものとなることにつながります。これまでの自分は、希望した役割でない時に仕事をしなかったことがありました。これからの自分は、学級や集団のことを考えて、まずは自分が臨んだ役割でなくてもやり遂げたいです。</p>	<p>○集団生活の充実に対する学びのよさを実感して、これからの自己のよりよい生き方に生かすことができるように、集団生活の充実に対する考え方を振り返る場を設定する。</p>

5年 C[よりよい学校生活、集団生活の充実] 教材「森の絵」(日本文教出版) 分析

<p>状況</p>	<p>○ 学習発表会での劇で、えり子は女王役を希望したが学級会で八月の精の役に決まった。 →道具係になったが、絵筆をもつ手に力が入らず、どこか投げやりになっていた。</p>	
	<p>えり子の言動や様子</p>	<p>文男、めぐみの言動や様子</p>
<p>人間的弱さ、脆さ</p>	 <p>(女王は個性があって、おもしろそうだし、女王ならやってみたいなあ。)</p> <p>「めぐみさん、わたし、ほかの役をやる。がんばってね。」 えり子は八月の精になった。ちょっといやだな、と思ったけど、げきはクラスみんなで作り上げるものなんだからと、自分に言い聞かせた。 えり子は、どこか投げやりだった。なまけようとしているわけではない。鉛筆を持つ手に力が入らないのだ。</p>	<p>女王役をやりたいと手を挙げた人が、もう一人いた。めぐみだった。 二人で女王のせりふを読んだ。めぐみのほうがうまい。みんなのはく手も、やはりめぐみのほうが多かった。</p> <p>めぐみには、たしかに才能がある。女王の冷たさのある品のよさを、見事に演じていた。</p>
	<p>希望する役になれなかったことで、自分のもう一つの役割である道具係の仕事を投稿やりに行ってしまう。</p>	
<p>きっかけ</p>	<p>「文男さん、ししゅうが好きなの？」 えり子は、だまっていた。</p> <p>絵の具をめぐるのにあきていたえり子は、文男に声をかけた。 「つかれたね。今日はもう帰ろうよ。」</p>	<p>「好きじゃないさ。ぼくがししゅう係だなんて、おどろいたよ。でも、だれかがやらないと、げきにならないじゃないか。けっこう、うまいだろう。」 「ぼく、もう少しやっていく。下校じこくまで、まだ時間があるもの。」</p>
	<p>文男の仕事に対する取り組み方を見て、自分の仕事に対する取り組み方とは違うことに気付く。</p>	
<p>価値への納得</p>	<p>授業中、文男がししゅうをしている後ろすがたが思い出された。「だれかがやらないと、げきにならないじゃないか。」と言った、文男の言葉が気になった。</p>	 <p>次の日、絵の具のかわき具合が気になって、図工室へ行って見た。ドアを開けると、文男がししゅうをしている後ろすがたが見えた。</p>
	<p>えり子は、刺繍に取り組む文男の姿や昨日の言葉から、一人一人が役割を果たすことについて考え始める。</p>	
<p>価値の発揮</p>	<p>「もう少し、ブルーでかげをつけようかなと思って。」 えり子は、生き生きとブルーのポスターカラーを皿にときはじめた。</p> <p>(『森は生きている』のまくが開いたら、みんながあっとおどろくような、すてきな森の絵をかこう。そう、げきを成功させなくっちゃ。みんなで成功させるのよ！)</p>	<p>昼休みに、めぐみは、放送室で熱心にBGMの録音を手伝っていた。 めぐみも、がんばっているのだ。</p> 
	<p>えり子は、自分も劇をつくり上げる一人であることに気づき、自分の役割をやり遂げようとする。</p>	

0 主として集団や社会との関わりに関すること[よりよい学校生活、集団生活の充実]についての内容分析

1 よりよい学校生活、集団生活の充実について

- よりよい学校生活とは、子供が教師や学校関係者、友達との人間関係を良好に保つために、取組や環境について考え、学校での営みを充実させることである。
- 集団生活の充実とは、複数の人々がその思いを尊重されながら主体的に参加、協力する営みにより、一人一人の役割や責任を果たすことで、集団として満たされた状態であることである。

2 各学年の主題配列について

[第1学年及び第2学年]

先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。

- 先生とは、学級担任や校長、教頭といった管理職、養護教諭、栄養教諭、他の学年・学級の教師のことである。
- 敬愛とは、尊敬と親愛のことである。尊敬とは他者の人柄や生き方、考え方、立ち振る舞い、業績等を価値高く認め、大切なものとして重んじることである。親愛とは自分と近い関係にある他者に対して、思いやり、大切に思うことである。
- 学校の人々とは、先生や同級生、上級生の友達といった学校生活を支えてくれる人々のことである。

一年生	二年生
主題名「がっこうが たのしみだ」教材名「たのしい がっこう」 学校生活は、先生や友達、上級生と関わり合い、楽しいことがたくさんあることがわかる。	主題名「わたしたちの 学校」教材名「わたしたちの 校歌」 校歌には、よりよい学校にしたいという思いが込められていることがわかる。
主題名「たのしい 学校」教材名「学校を 休んだ」 先生や友達と関わることで、学校生活が楽しくなることがわかる。	

1年生：学校が楽しいことの意味がわかる。 → 2年生：学校が楽しいことの価値がわかる。

[第3学年及び第4学年]

先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。

- 先生や学校の人々を敬愛しとは、教師や友達、学校を支えてくれている人々に対して、尊敬と親愛の念をもつことである。
- みんなで協力し合ってとは、目標を達成するために、友達と力を合わせて事にあたることである。

三年生	四年生
主題名「すばらしい学級をめざして」教材名「学級しようかい」 学級のみんなで協力し合うことが、学級のよきにつながるがわかる。	主題名「わたしたちの学級や学校」教材名「交流学習の前に」 日常生活の中で協力し合うことが、学級や学校のよさを作りに上げることにつながるがわかる。

3年生：学級で協力し合うことの意味がわかる。 → 4年生：学校や学級で協力し合うことの価値がわかる。

[第5学年及び第6学年]

先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。

- 集団とは、学級、学校、地域社会といった複数の人々の空間的、目的、心理的な集まりのことである。
- 集団の中での自分の役割を自覚しとは、集団の目的を達成するために割り当てられた自分ののはたらきや役目を知ることである。
- 集団生活の充実とは、複数の人々がその思いを尊重されながら主体的に参加、協力する営みにより、一人一人の役割や責任を果たすことで、集団として満たされた状態であることである。

五年生	六年生
主題名「集団生活のじゅうじつ」教材名「真由、班長になる」 集団生活を充実させるには、集団のことを考えて行動することが大切であることがわかる。	主題名「学校を愛する心」教材名「ぼくたちの学校」 学校生活を送るためには、教師や友達、地域の人とといったたくさんの人たちが関わっていることがわかる。
主題名「集団の一員として」教材名「森の絵」 集団の中での役割を一人一人が自覚をもってやり遂げることで、集団が成り立っていることがわかる。	主題名「集団での役割」教材名「二十五人でつないだ金メダル」 集団の中で一人一人が役割を果たすことが、集団としての力を高めることにつながるがわかる。

5年生：集団の中での役割を果たすことの意味がわかる。 → 6年生：集団の中での役割を果たす意義がわかる。